（大正十二年十一月八日第三種郵便物認可）

常磐毎日新聞

日刊

三月十五日夕刊

定價 一部金貳錢・一ヶ月金五拾錢 郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京 四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は北西の風 晴
明日は北西の風 晴

なだめる留男を滅多斬 暴れ狂ふ血魔
祝宴、修羅場に兇變
慘！血の海と化す勿來の慘劇

去る十三日午後四時半頃勿來町酒井字掘の内土地ブローカー荒川三郎（四二）が同字農荒川倉吉方で同人の甥に當る同字精米業荒川廣治（三六）を日本刀で慘殺した事件は十四日平檢事局石合檢事、久和植田署長立會、平町藤沼醫師執刀の下に被害者の實兄荒川仁平方で死体解剖の結果右脇腹を突き刺されたのが致命傷で一方加害者三郎は直ちに起訴豫審に附された

殺された弘治は十三日朝八時頃から同字太平睦四郎方で開かれた役員改選の農事實行組合總會に出席、新組合長に荒川倉吉氏が滿場一致で當選したので事務引繼觀のため出席者一同は倉吉方へ行き御馳走になつてゐる中銘酊してきた三郎は持前の酒癖を發揮し誰彼となく喰つてかゝり手におへなくなり甥の廣吉は『叔父よ／＼』となだめながら家まで送り屆け自分は再び三郎方へ戻つたが間もなく倉吉は白鞘二尺五寸の日本刀を手に携へ腰に双渡り一尺八寸の短刀をさし倉吉方へ躍り込み『皆殺しにする』とて日本刀を振り廻したのでまたも廣治が取り鎭めやうとした際矢庭に同人の右の腹を突き刺し即死せしめ返す刀で廣治の實兄荒川仁平にも一刀を浴びせんとして刀をもぎ取られ今度は腰の短刀を振廻して暴れ狂つたが同席の人々がもぎ取りおさへつけてゐる處を急報に接し馳けつけた植田署員に捕はれたものである

くやしくて／＼ 泣き崩れる妻女
被害者は實直で評判の好人物

（別項）叔父の刄に斃れた荒川廣治さんは妻サクさん（三六）との間に長女よし子（九）長男信男（七）次男了平（四）の二男一女あり生活は余り豐でないが家庭は至極圓滿で村評判の眞面目者であつた、尙加害者三郎は性來の亂暴者で附近民からの憎まれもので數年前にも同じ日本刀で傷害事件を起したことがある、被害者妻サクさんは抑へきれぬ涙の中に左の如く語つた

叔父さんに殺されるなんて何の罪があるのでせう、夫はそんな惡人ではない筈です、酒は飲んでも亂暴なんかしたことはなく、家に歸つても知らぬ間に寢てしまふ有樣で、子供も私より夫になついてゐた位です、ほんとにこんなことにならうとは夢にも思ひませんでしたのに……叔父に殺されるなんで何の因果でせう、くやしくて／＼たまりません、だがこれから私の手一つで子供も立派に育てゝ見せます、そしたら夫も地獄で浮ばれることでせう……

失明事件 示談成立

既報些細の事から口論の末煙管で突刺され眼を潰された双葉郡湯戸村大字兩竹字北觀音堂五八魚行商福田富吉（五七）さんが大嶺辯護士を代理人に同村大字中濱字長沼三七同金井源之助（五三）さんを相手取り平支部に提起した二千四百圓の損害賠償請求事件は此程示談成立今十五日取下げた

森山畫伯 個人展 丸友ホールで

大日本美術會院友森山麥笑畫伯の個人展は來る二十二十一日の二日間午前八時から午後五時まで平町マルトモホールで開かれるが一般の來觀を歡迎する由

醉つて暴行

入遠野村農矢野新一（三〇）は十三日午後同時平子俊一方の葬儀場で振舞ひ酒に泥醉、隣席の平子留藏（五四）と喧嘩し客膳で平子の後頭部を滅多打ちにし全治二週間の傷害を負はせ植田署に檢擧

四倉繭市場 經營委任
今日査定會

從來石城販利組合で經營してゐた四倉繭市場は今回石双二郡を一丸とする乾繭組合の結成と共に郡養蠶業組合聯合會の手に委任することゝなり十五日同市場でこれが査定會を開いた

陽氣な春に浮かれ ふら／＼と飲む
▽……無錢飲食の型二ツ

□□十四日正午頃小名濱町中島料理業相澤家こと相澤寅松方に登樓した漁夫体の男が同家酌婦を相手に十餘圓の遊興した揚句隙をうかゞつて逃げださんとして平署員に逮捕された、右は茨城縣多賀郡大津町漁夫川崎徳次郎（二九）で同日廻船で入港上陸したが陽氣な春に逐うかれだし脱線した始末

□□好間村大字北好間堂田小田炭礦坑夫四家喜雄（三〇）は十四日夜十一時頃同村中好間飲食店佐藤一郎方で一圓八十錢の無錢飲食を働き平署に檢擧された

母校奉安殿に 記念植樹
尼子橋會

平第一校出身者より成る磐中の尼子橋會は昨日午前九時から平第一校に總會を開いたが草刈建君外數名發起となり母校奉安殿前に「恭山木」「木斛」「高野槇木」等の記念植樹をした

二校卒業式 石城

産科婦看護婦學校は今十五日午後一時から第三十七回卒業式を擧行、平産婆看護婦學校は明十六日午後一時から第三十一回卒業式を擧行するが兩校の卒業生は別項の通である

鐵道代議士選擧
今日水戸管內一齊投票

水戸運輸事務所管內現業委員の改選投票は既報の如く今十五日管內一齊に行はれたが平驛關係でも午前八時から午後の五時まで同樓上で投票を行つた結果は明十六日午前八時から水戸運輸事務所で開票されるので興味を以つて見られてゐる、尙平驛關係の名乘りを擧げた候補者は

△驛關係（定員三名）平中根秀四郎、會川竹千代、湯本加倉井力夫、綴高瀬政次郎
△平保線區（同一名）橋本重忠、廣瀬國重
△平檢車區（同）根本秀四郎
△機關區（同一名）木村忠徳、中根亥三彌

諸氏で選擧された委員は同區鐵道從業員の忠實な代辯者として待遇改善その他の希望、不滿等を改革せんとするもので一般から所謂鐵道代議士と呼ばれてゐるものである

兩校長出福 篠山

平第一、千葉同第二の兩校長は今十五日福島市敎育會館に開かれた本縣敎育會の代議員會に出席の爲め出福したが歸校は明十六日午後の豫定

磐女志願—締切日の正午迄に 既に定員超過
こゝ許りは不足を他處 我が世の春謳歌

既報今十五日締切の磐女今年度入學志願者數は正午迄四百四十名で定員二百五十名に對し百九十名を突破したが十五日附のスタンプあるものは明十六日も受付るといふから昨年の志願者四百六十五名と大差ないものとみられてゐる、尙二十日締切りの磐中は目下の處百六十六名、同平商は八十六名である

之は手強い 無錢飲食て 一年六ケ月

既報僅か十圓餘の無錢飲食で懲役二年を求刑された宮城縣生れ目下住居不定無職加藤安雄（二八）に係る詐欺事件の公判は今十五日午前十時から平區に開廷されたが前科五犯が祟り田中判事から懲役一年六ヶ月の判決を言渡された

〝妾達は生きた花よ〟と
よろこべ！若うどよ春を謳へよう
絢爛の櫻花と競艷
新田町の紅裙連早くも 四月公演の準備を開始

花の平・豪華版

平藝妓屋組合は櫻色爛漫の四月に備へて早くも準備を整へ目下踊りの猛練習を行つてゐるが決定された番組は新曲長唄「海山の幸」長唄「元祿花見踊」レコード伴奏「櫻娘」「櫻道中」「チョンマゲ道中」「平小唄」「磐城音頭」等々で意匠も本年は本場の京都へ注文、年增、若手、半玉の三通りに區別した夫々豪花のお揃へで咲き誇る櫻花と艷を競ふことになつたので期待されてゐる

色街で大半費消
映畫見物中の 拐帶犯人捕る

平署では十五日夜內郷村宮磐城劇場から映畫見物中の茨城縣多賀郡松岡村大字上手綱千代田炭礦役員菅野信晴（四二）を檢擧したが右は去る十二日同礦販賣部係員菅川竹雄氏から從業員に支拂ふ社金二百十八圓餘を一時保管方依頼されたのをそのまゝ横領、逃走して手配中だつた拐帶犯人で同人は去る四日入社した許り逃走後植田、小名濱、高萩の各色街で遊興大半を費消してゐた

植田産婆會 植田

署管內郡南菊田方部の植田産婆會春季總會は櫻花咲く來月十五、六日頃植田署樓上に開き役員改選を行ふ

四倉消防幹部會 四倉

署管內消防組幹部會は來る二十一日午前十時から同署樓上に開く

檢察事務指導

平區上席檢事櫻井久次氏は今十五日檢察事務指導の爲め午前は植田署へ午後は四倉署に各出張した

映畫〝祐天上人記〟 長橋青年分團で
資金造成の觀賞會

平町長橋青年分團では資金造成のため既報の如く來る十八日から四日間毎夜二回に亘り世界館に上映される『祐天上人記』映畫觀賞會を催すことになり目下入場券を賣捌き中であるがプログラムは祐天上人記を始め市川右太衛門、柳さく子主演『文七元結』トーキー大谷日出夫、高山廣子主演『劍士虛無僧系圖』我國三大名畫の一つ『戰線に吠ゆ』等で團體申込みは長橋町の祐天上人事蹟研究會事務所高木喬氏宛問合せられ度く割引等ある筈

巡回圖畫展 磐女

は目下縣下女子中等學校の巡回圖畫展覽會開催をし全校生に觀覽せしめてゐる

平町人籍

出生
△才槌小路一八藤田軍治郎氏二男正さん

死亡
△仲間町七二佐藤豐吉氏（七一）
△六間門五佐々木丈太郎氏（二二）

◎石城産科婦、看護婦學校卒業生

〈産婆科（四十六名）〉橋本ナホ　本田好子　星千枝　本田國子　本田スミ　小澤トリ　大和田ツヤ　大形好子　大谷マキ子　渡邊縫子　川上菊枝　吉村渚子　横田栗　吉田ミホ子　高津花子　高岡ケイ　高木ツナ子　高橋ツルヨ　高橋サク　中川キクエ　中山紀久子　長澤愛子　八卷ヒデ　山野邊幸江　松崎ツルヨ　古川美代子　藤井ヒデ　木幡フミ子　秋山悅子　佐藤ツルヨ　澤田ハル　佐藤マサ子　佐藤米子　佐藤ミドリ　櫻井久子　横田愛　本田ミツ子　木村ケイ子　木下千代子　御代直子　三浦トシ子　皆川富子　篠崎キヨ　末永コトジ　杉本登志子　鈴木トミ子

〈看護科（五十七名）〉橋本ナホ　本田好子　星千枝　本田スミ　本田玉子　小澤トリ　大和田ツヤ　大形好子　大谷マキ子　渡邊カネ　渡邊縫子　川上菊枝　吉村渚子　横田栗　吉田ミホ子　吉田シウ　横田愛　横田タキエ　高津ハナ　高岡ケイ　高木ツナ子　高橋ツルヨ　高橋サク　中山紀久子　中川キクヱ　長澤アイ子　八卷ヒデ子　山野邊幸江　松崎ツルヨ　古川美代　藤井ヒデ　木幡フミ子　秋山悅子　佐藤ツル子　佐藤タイ　澤田ハル　佐藤マサ子　佐藤キミヨ　佐藤タケヨ　坂本モヨ　佐藤米子　佐藤ミドリ　櫻井久子　木村ケイ子　本田ミツ子　木下千代子　御代直子　皆川富子　三浦トシ子　篠崎キヨ　廣川シヅエ　杉本登志子　鈴木トミ子　鈴木フミ　須田ハツ　鈴木エイ　赤坂和子

◎平産婆看護婦學校卒業生

〈産科婆〉岩倉正子　二瓶貞子　新妻照　新妻トクヨ　新妻ヨシ子　新妻シゲ　大越アイ子　大谷キミ子　小澤トミ子　渡邊富子　渡邊セツコ　渡部セキ　若松カネ　吉田ハツヱ　高木久子　高萩エチ　高島ハナヨ　釣卷ミヨ子　村田コウ　梅田マス　遠藤茂子　草野クラ　草野ヨシチ　國井キヨ　矢内万千ヨ　小林ハツミ　小針フミヨ　相川カヨ　阿部義子　青木キヨ　青木タキ子　寒河江チヨ　佐藤潔子　佐藤カネ　佐藤千秋　井口良惠　門馬サツエ　鈴木アサ

〈看護婦科〉石川ヨシ　伊藤美江子　磯上キイ　岩倉正子　早坂末子　箱崎ヤス　新妻ヨシ子　新妻照　新妻シゲ　二瓶貞子　星ヨシエ　豊田節子　大和田ヤイ　大谷キミ子　大橋良子　大越アイ子　大友ツネ　小澤トミ子　渡邊富子　渡邊悠子　渡邊セツヨ　渡邊ヨシイ　渡部セキ　吉田ハツヱ　高木久子　高島ハナヨ　高橋キミ　高木キク子　釣卷ミヨ子　根本クニ　根本ナカ　村田コウ　梅田マス　遠藤茂子　草野クラ　天野ミチ　山野邊トミ　山田マキイ　松本ツヤ子　小針フミヨ　小山ミサヲ　小林ハツミ　小松ヒデ子　井口良惠　青木キミ子　青木タキ子　青木キヨ子　阿部義子　相川カヨ　佐藤きよ　佐藤千秋　佐藤歌子　佐藤アサヨシ　佐原ヤスイ　佐久間トメ　寒河江チヨ　菊地重子　志摩トヨ　杉岡春江子　鈴木華子　鈴木キミ子　鈴木ハル　鈴木アキ

吉田眼科醫院
平町紺屋町

JOHK

今晩の部
▽後六、〇〇 子供の時間 京城忠信學院兒童 郷土童謠
▼後六、二五 山村副業講座「松脂の用途とその採集」林學博士三浦伊八郎
▼後七、三〇 生活改善講座「祝祭佛事に關する改善」高島米峰
▼後八、〇〇 近江八幡左義長祭實況―滋賀縣八幡町八幡神社境內より中繼
▼後八、二〇 室內樂（ヴァイオリン）アウグスト・ユンケル（ピアノ）小倉末子
▼後八、五〇 浪花節「林藏の最後」早川燕平
▼後九、三〇 時報ニユース 明日の話題 番組豫告

明日の部
▼前一〇、三〇 母の講座「家庭に於ける音樂教育」「家庭から來る各種の影響」本野精吾
▼後〇、〇五 琵琶「菊水」松本旭鶴
▼後〇、三〇 國民歌謠 大阪放送合唱團
▼後二、〇〇 家庭講座「家庭經濟改善の形と實」山田喜太郎
▼後六、〇〇 物語「孝女白菊」熊本放送童話劇研究會
▼後六、二五 講演「職業と人間の型」今井時郎
▼後七、三〇 講演「英國を支配するもの」古垣鐵郎
▼後八、〇〇 模擬熊狩實況―秋田縣北秋田郡荒瀬村根子又鬼連中
▼後八、三〇 詩の朗讀 照井榮三
▼後八、五〇 連續講談「出世くらべ」小金井蘆洲

メートル御使用家の福音
二割明るく二割お德な
新マツダランプを
お奬め致します！
目下懸賞券付賣出し中洩れなく粗景呈上
毎月一日 十五日 マツダランプ割引デー
當日はマツダ眞空管も割引致します
日東商會 電話四二八番

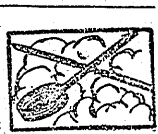
田毎の!!! みつ豆
白蜜と黑蜜
電話六三二番

大日本美術會院友
森山麥笑畫伯個人展
期日 三月二十、二十一日（午前八時＝午後五時）
場所 平町マルトモホール
森山麥笑後援會
（一般來觀歡迎）

開院 平病院
平町警察署側（電六四一番）
院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長 醫學士 木下基一
（近日着任）
内臟外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 醫學士 横山喜俊
産婦人科 部長 醫學士 池谷宗三郎
レントゲン科 部長 醫學士 横山喜俊
物理的療法科 技師 岡田重德
藥劑部 部長 藥劑師 吉本孝平
◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診 隨時
病室完備……入院隨時【自炊ノ便アリ】

レール鐵管 入荷御案内
新品に劣らぬ品◎値段格安
中古十二封度レール（附屬ページシ）
中古鐵管二吋、四吋、六吋管
右入荷致しました、賣切れぬ內に何卒御用命の程御願致します
海軍工廠御用達
井尻七三郎商店
出張所 福島縣平町鍛冶町十一 電話五二二番
本店 大阪市南區空堀町三十三番地 電話中東五三三四番
支店 呉市藏本通十一丁目一番地 電話二一一〇番

白刃劍風連
大島多慶夫作
井川洗涯畫
（東西）布施長春畫 村瀬春映畫
（禁上映上演翻案）



百一
がまんの會（十三）

お京は[illegible]れた顏をして、[illegible]る[illegible]が[illegible]かつたが、十郎左衛門の[illegible]を[illegible]ると、[illegible]に[illegible]い[illegible]が明るい[illegible]やかさを加へた

『お[illegible]』

と、お京は[illegible]たと[illegible]はねばかりに抱付いた。[illegible]右衛門の[illegible]十郎と[illegible]の[illegible]は、これは[illegible]いと[illegible]つた[illegible]をして[illegible]子をつかつてゐる。

おきんは十郎左衛門と四天王の二人までが、[illegible]の白柄組の人と[illegible]つて、[illegible]の[illegible]をしてゐるので[illegible]の[illegible]をひそめてゐてゐた。

そして、十郎左衛門がお京の[illegible]をとつて、奥の二階[illegible]へ行かうとするのを[illegible]たので、

「もし、お[illegible]」

と、[illegible]覗けて來た。

「[illegible]。[illegible]用ぢや」

「どうして今日、[illegible]所[illegible]だけはそのお[illegible]なのでござります」

「これか。いや、多分白金の伯父が[illegible]つて[illegible]るであらうと存じたから、わざと[illegible]をいたして[illegible]つたのぢや。はゝゝ」

「[illegible]でござりますか」

と、おきんは[illegible]から[illegible]に[illegible]と十郎左衛門が[illegible]合せてあつたものと[illegible]いてゐた。

加賀爪甲斐[illegible]を[illegible]として、[illegible]には白柄組の[illegible]者が[illegible]くなつて。[illegible]をあつめて何ごとか[illegible]にふけてゐた。そして十郎左衛門が[illegible]かに[illegible]を上つて[illegible]たのも[illegible]らなかつた。

[illegible]く十郎左衛門とお京と一緒に、廊下に立つてゐた[illegible]十郎の[illegible]右衛門と[illegible]の[illegible]にだけ[illegible]せ[illegible]の[illegible]を[illegible]してゐた……

「[illegible]の[illegible]ぢや」

と、十郎左衛門は[illegible]に[illegible]か[illegible]をさづけられたと[illegible]のうちで[illegible]しながら わざと[illegible]くしい[illegible]子で口を[illegible]いた。

みな一[illegible]にぎよつとして、十郎左衛門の[illegible]を[illegible]つて[illegible]た

「やあ、水野氏。[illegible]に[illegible]いではござらぬか。いかゞいたされたのぢや」

まづ加賀爪甲斐[illegible]が[illegible]を切つた

十郎左衛門はつとめて[illegible]目くさつた[illegible]をして、つ[illegible]れて[illegible]いてあつた[illegible]、実は伯父の[illegible]であつたと[illegible]んだ[illegible]所へ行つて[illegible]つた。

「白金の[illegible]しが[illegible]つたさう[illegible]やのう」

と、十郎左衛門は[illegible]らぬ[illegible]をして訊く。

「俺たちはさん／＼に酒を[illegible]られた」

「だから俺は[illegible]く[illegible]つたの[illegible]や多分こゝへ來ると思つたので……内[illegible]で伯母上から[illegible]らせて[illegible]つたのでな」

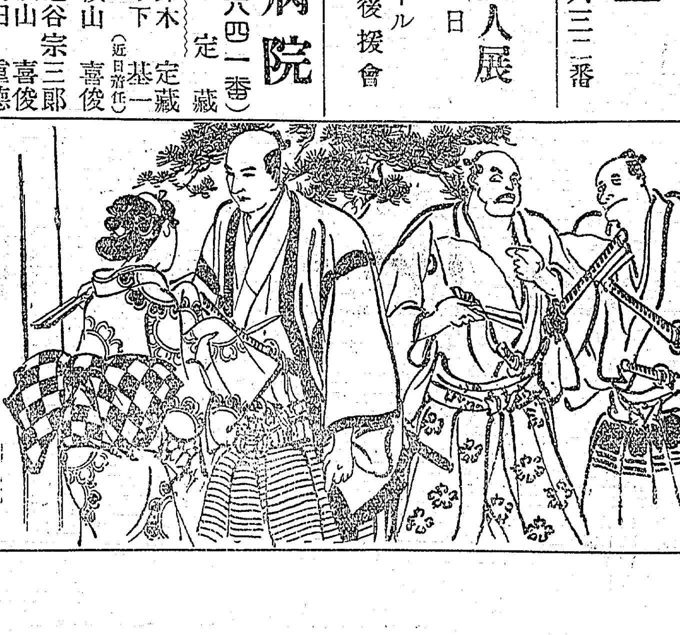
「[illegible]が[illegible]い。何故それならば[illegible]にも早く知らせて[illegible]れないのだ」

「しかし、俺がうまいことが伯父の[illegible]から白柄組に[illegible]して土産はなかつたか」

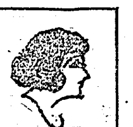
「別に土産と云つては……うむう土産と云へば土産かも知れんの[illegible]つきの[illegible]を[illegible]て[illegible]られたぞ」

「さうか」

十郎左衛門にはそれが[illegible]ごとであるか。ほゞ[illegible]されたのであつた。



家庭と婦人



（婦人の立場から）母親の權利

望月百合子

情婦との間に生れた自分の子の認知をこばんだ父親がその子を私生兒として育てゝ來た母親からうばひ、それを自分の籍として入籍し、さらに他家へ養女にやつてしまつた。狂亂の母が八方さがしまわつたすゑやうやくわが子の居所をつきとめたが、取もどすことが出來ない、警察も子供の將來のためと云つて味方になつてくれない、やむなく裁判へ訴へたが、その判決が待ちきれないで、時々養家の附近をはいかいしてせめてわが子の顏なりとかげながらでも見ようとしてゐる、と云ふあはれな話がある

○

子供が母親から生木をさくやうにして引きはなされ、うばひ去られる悲劇はわが國では絶えず演じられる、法律は女に母親としての權利をさへあたへてはゐないのだから、男女の間が一旦破たんしたとなると、女は四十五十になつても裸で、子供までうばはれて追ひだされる、しかし私生兒をすらも父親が勝手に處分できると云ふこのニュースは女にとつて全くの驚異だ、子供の將來のためを云ふなら、たとへどんな母親でも狂人でないかぎり、うみの母親にそだてさすべきだ、そしてよき父のないかうした母子を養護し保護する組織をいたる處に持つべきだ、さうすればどれだけ多くの母と子の幸福が保證されるかしれない、まづ女が親としての權利を男と同等に持つ事母子保護事業がさかんにおこされる事の二つを待望する

女性美を語る

昔と今は違ふ男性の觀察

複雜化した近代美

あの女は美しいといつてもその言葉の意味には可なりの複雜性が含まれて居るやうです。昔のやうに男性が女性に接近するチャンスのすくなかつた時代には街頭をソヽとして遊歩する歐風式の美人をかいまみて、ほのかな感情を通はせたものですが、このごろのやうに何處へ行つても女性のはんらん時代——デパートに、喫茶店に、オフイスに——のうごきにおしながされて、女性美の標準が肉體美から觀念的美へとそして形の美から表情の美へと男性の鑑賞眼が複雜化したことは事實です

早い

話が、映畫女優にしたところが、その人氣の推移は走馬燈のやうなはげしさです、それもその女優の演技の上手下手といふよりも、ファンの心理のうごくまゝに一種の時代色をおりなしてゆきます、イット女優としてうたはれたクララ・ボーはいま何處にといひたいし、頽廢美をほこつたデートリヒの人氣も正にてうらくにかたむいたといふ事です肉感美、感情美、理智美、神秘美、ロマンティック美、野生的な美、白痴美、可憐純情の美、等々と擧げて行けばきりがありません

○

只平

原始的な形の蠱惑にすらこの位の女性美の複雜があり、それに近頃のやうにトーキーとなつては聲の魅力、話術の巧拙、等々と女性美もまた複雜なるかなと感ぜざるを得ません、さらに女性美を深く變化するほかの大きな原因を見のがすことが出來ないといふのは女性の日常生活には常にリズムをもつと云ふ事です　たとへば周期的にくりかへされる月經をはじめとして、結婚、姙娠、育兒と女性には特殊な變化があり、さらに季節、年齢とその美的表現には無限の波動を數へることが出來ます

○

更に

女性美を年齢的にみる時は、處女の美は野生美といつたところがあり、主婦時代の美には圓熟の新妻の美に母性美があり、それをすぎて、中年ともなれば、心の美のふかさを増すことにより、洗練された內面的の美が圓熟のてうてんをおぎなふと云ふ事になります

換言すれば、婦人はいつの時代にもその年齢に應じてうつくしさをもつてゐるわけで、これを男性に對照にして考へる場合、愛する男にだけは誰でも常に美を開くといふわけで結論として女は常に無限の美の寶庫をもつてゐると云ふことが云へるとおもひます

一生を通じて美の所有者

姙娠初期が最高頂

そこで、古來女性はいづれの時代がもつともうつくしいかと云ふ問題についていろ／＼面白い見方をした人があります、彼のロダンは「女性美の最高峰は新妻のもつ魅力だ」と云ひ、英國の有名なストープス夫人は姙娠にともなふ神秘美をたゝへて「女性の最もうつくしいのは姙娠の初期である」と斷破してゐます

○

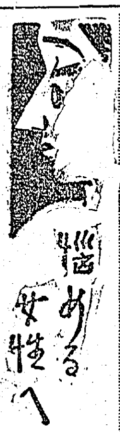
これは私の見解にしたがへば、ロダンは女性が結婚によつて、ほんたうに一人前の女性となつたその新鮮さをたゝへたものであり、ストープス夫人は女性が母となる喜びすなはち母性としての幸福感に際つてゐる時が一番うつくしいと云ふ見方でありませう、勿論これは、女性美の表現をかなり觀念的に觀察した結論であつて、結局女性美は肉體美と精神美のハーモニーにあるといふ結論をみる事が出來ます

毎日のメモ

着物のとりもちを取るには

着物にとりもちがついた時、カラシをつけてあらふときれいにおちます

悩める女性へ



問　夫も子もすて丶年下の愛人の許に行きたい

……妾は三十二歳になる二人の男の子をもつ母でございます。妾はいま出發點をあやまつたゝめに非常に苦しんで居ります。妾が結婚するまへ妾を愛して下さつた年下の人がありましたが、その人は理性の力で妾をすてゝしまひました

……ところが十年たつても妾をわすれず、ことに肺をやんで、婆やと二人さびしく某所に轉地して居ります。妾はあまりお氣の毒なので、すこしでも早く御病氣をなほして上げたいばかりに交際を始めましたがだん／＼お見舞してゐる間に心から愛し合つてゐる二人の事ですから、はなれられない氣持になつてしまひました。妾は結婚以來夫からは女王のやうに愛されて居りますが、妾はすこしも愛する事ができず、子供のために犠牲になつて辛してまゐりました

……近頃になつて、自分を生かすのがまことの人間の心の樣におもはれ、すべてをすてゝ病人の處へ走らうかとおもひます。人のいやがる結核病の處へ行くなんて隨分馬鹿の樣にお考へになりませうが、私としては病氣なだけよけい喜ばせたいとおもふのですが、私はどういふ道をとつたらよろしいでせうか、何卒とるべき道をお教へ下さい（悩む人妻）

答　それは餘りにわがまゝです　子供のために潔く生きよ

……あなたは餘りわがまゝです。ふかい考へなくしてうごきすぎます、そしてその結くわに對する責任をいつも回避しようとする自分本位なズルさをもつてゐます

……いまの道は完全に自分の選擇した道ではありませんか。女王の樣に愛される事のみ知つて、御主人を愛さうと云ふ努力をおしむあなたです、もしあなたが病人の許へ走つたとしたら、苦しむのはあなたばかりでなく、御主人もお子さんも、病人もそのウヅの中へまきこまれませう

……あなたは氣の毒だとおもつて交際を始めたといふ樣ですがそれはあなたの氣やすめと感傷にすぎません、いまは獨身でないあなたの出現で病人の心をみだしこそすれ決してきゝめのない事はあきらかです、治りかけた病人もふたゝび惡化することゝなりませう、一刻もはやく病人との交際を絶ち、自分のえらんだ道に忠實に生きて下さい（家庭部記者）

織物の廢物　斯うして利用

すてる前に考へて下さい

御家庭でお使ひになる一般織地が廢物となつた場合にそのまゝすてゝしまはずと、次のやうな利用法がある事をすてようとなさる前に一應思ひ出して下さい

○

キャラコ、ポプリン、ふじ絹などのワイシャツはそでや襟以外の丈夫なところをもちひるとお子さんのエプロンが立派にできます、[illegible]入を上手に、やぶれたところをさけてたてば男子のシャツ、シュミーズヅロースが出來あがり、身頃を利用してエリ、ソデなどは別の色布につけて女子の夏服やベビー服がこしらへられます、また前かけにつくれば家庭染色のよい材料にもなるわけです

○

ネクタイはそめなほして切れた部分をのぞいてちいさくつくるとお子さんのネクタイとなり色あげをしてまた銘がへしすればふたゝびもちひられるし、腰ひも、つけひもとしても立派なものが出來ます　また袋物にすればラーヂ入、名刺いれ、クシいれ、財布その他のものがしやれたものとして出來あがります

○

ソフト帽はそめかへて娘さんのもちひるとスリッパー、子供靴、そのまゝか或はそめて綺いれにもなるし、靴みがきにもなります、ソフト帽でなくとも絹製帽ならなんでも同樣です

○

カラーこれもちいさく切つて針さしをつけさへすれば立派に荷札として利用が出來、ひくゝ切つてもちひるとお子さんのカラーになります

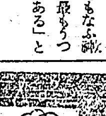
○

靴下は輪に切つて中に古綿をいれたふくろとすると上等な靴みがきとなり、といて綿としてしつけ糸にぜん糸とすることも出來ます、洋傘のおふるは骨からぬのを外し二三の色にそめわけて縫ひ合はせると座布團クッションなどが出來ネクタイの利用のやうにすれば袋物類、その他のものが出來るわけです

愛嬌のある婦人を

東京寶塚劇場

……社會は如何なる職業婦人を求める……



出札係、接待係、食堂その他に婦人を採ります　年齢は滿十四歳以上、二十歳まで高等小學校卒業以上、明朗で健康で、愛嬌のある婦人、とにも始終お客樣に接する仕事ですから　とつた婦人でなければいけないと云ふ事はありませんが、要するに感じのよい人がのぞましいとおもひます、そしてよく眼が利き、御老人や子供衆などに親切な婦人であれば申分ありません。劇場や映畫館の案內係とは申しましても私共では働いて下さる人達はごく家庭的に、眞面目にとの方針で、待遇して居りますのであまり職業ずれのしてゐる婦人は、素直にのびないのでこまります。はじめて職業につく婦人を採用の方針でをります

あすの表題

◎打てばすぐ響く婦人

阪急百貨店

玉子の見分け方

卵の品質は一個一錢のものでも十錢のものでもその間に成分の差異を認めることは化學の力では出來ないのですから、家庭では安い高いよりも新鮮か古いかをたしかめることが大切ですカラから云ひますと排出されたばかりのものがもつとも新しいものは水氣がありますが、それがとれると粉が吹いた樣に表面がザラ／＼になつてきます、それがふるくなるとスベ／＼として光澤のあるものに變化します、カラはざら／＼したもの丶方がいゝのです。卵は御承知のやうにカラの大きい方の部分と、中身の間に空氣がたまつてゐますが、これはごく新鮮な間はどこにあるかもわからない位ちいさいものですが時がたつと自然と擴大してくるのです。うで玉子などですと中身のお尻がへこんでゐないと物足りぬやうですがへこんだ處はすくない方が新しいのです、明るい方へかざして見て出來るだけうつろのないのをえらぶべきです。一割鹽の鹽水に新しい卵と古いのをひたすと新しいのはしづみ古いのはうくのもこの中身のへこみの關係で比重の差が生れてくるからです。やぶつて黄身が丸く高くもり上つてゐるのは新鮮な證據です。卵黄の細胞膜は新らしいほど張り切つてゐます、カラがやはらかくすぐやぶれるのはにはとりにカルシウムの補給がたりぬためですから古い新しいには關係しません

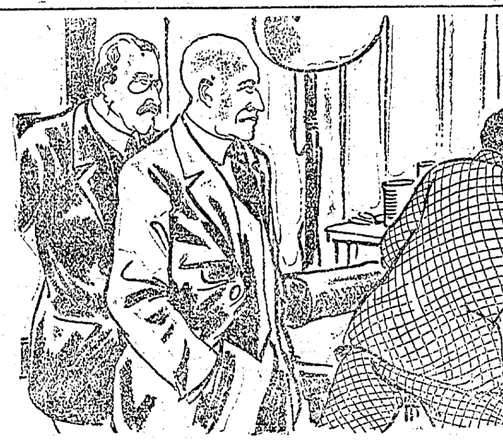
護れ太平洋の波

寺島柾史（作）

村瀬春映（畫）

……No.一〇二……

平和と亞（三）



「ハ、、、、さういふといさゝか妙な氣になるよ」

二人は、顏を見合せて笑つた。

「ときに、ピコルさん。このロボットを、日本のどこへ送らうとなさるんです」

クーパー博士がたづねると、ピコルは、チラと栗飯原の方をみて

「あれ、大丈夫かい。われ／＼の話がわかるやうだと困る」

「大丈夫です。その點はご安心なさい」

といつて、栗飯原に向ひ

「おい、その手術臺をおりろ」

といつた。すると、氣の拔けた栗飯原は、無表情な顏のまゝ、手術臺をおりた。

「室の隅へ行つて、眼をつむつてゐろ」

すると、栗飯原は、のこ／＼と室の隅へあるいていつて、うなだれて眼を眠る。

「ごらんなさい。まつたく魂といふものを失つてゐます」

「なるほど、この調子だと、命令一下、火の中へでも水の中へでも飛込むだらう」

「むろんです」

といつて、博士はまた、栗飯原に向ひ

「おい栗飯原君、その手術臺は、君の腕でへこましてやれ」

といふと、栗飯原は、急に力み出し、拳を振つて猛進し、手術臺に摑みかゝつた。とても勇敢に、いつまでも、頑丈な手術臺と格鬪をつゞける。

「おい、もうよろしい、手術臺は悲鳴をあげたから。それで許してやるがいゝ」

すると、急にまた、栗飯原は、力なくうなだれて立つてゐる。

「床の上に坐れ」

命じると、栗飯原は、素直に床の上に坐る。

「ごらんのとほりですから、また何かの役に立ちませう」

「うン、さつそく、ペブハーン君のところへ送りとゞけよう」

「ペブ君は何處にゐるのです？」

「北洋だ」

「何をやつてゐます？　ボルトメン等と、まさか鮭をとつてゐるのでもありますまい」

「むろんさ。……アリューシャン群島のＧ島にゐるよ」

「北太平洋航空會社の前進基地のある島ですね」

「さうだ。ソヴエートロシアとの連絡地だ」

「あそこが、つまり、太平洋戰爭の發祥地といふ、あんたの筋書ですか、なるほど……」

魂を失つた栗飯原は、ピコルと一しよに、地下の研究所を出ることとなつた。

クーパー博士は、お猿を料理する仕事が殘つてゐるといつて、研究所に居殘つた。

ピコルは、地下街の自分の室へ栗飯原を連れてきた。

殺風景な室の、片隅の長椅子に、美しいエリザは、美しさのまゝに打凭れてゐたが、二人の入つてくるのをみて、急に晴れ／＼しい顏になり、

「あ、栗飯原さん」

と、低聲で叫んだ。

しかし、栗飯原は、無表情な眼だ。ピコルは笑つて

「エリザさん。お待兼の栗飯原を連れて來たよ。さア、もう機嫌を直していゝだろ」

それから、栗飯原に向つて

「エリザさまが、お待兼だつた。さア、挨拶をしろ」

さういふと、栗飯原は、エリザに向つて、機械的に頭を下げた。

「まア、栗飯原さん。何とかおつしやつてください。あなたは、どうしたのです。そんな冷たいお眼をして……」

エリザは、哀しさうにいつた。

ピコルは、やはりわらつて

「ほら、エリザさまがお歎きだ。何とかいつてあげろ。ワン、ワンとでもいふがいゝ」

すると、栗飯原は

「ワン、ワン」

と、犬のやうにほえた。

新車御披露

花に魁けして優秀三七年式ダツチブラサーズ號及シボレー號が入車致しました、あく迄御客樣本位の奉仕であります。『安全、迅速、切親、正確』が當タクシーのモットーであります。尚近々中に更に三七年式高級車オルズモービール號が入車致します。是非御試乘御願ひ致します。

平　驛前　**昭和タクシー**　電話六四〇　六四三番

外科內臟外科　X光線科　院長　安齋徹

—新設—　產婦人科　醫學士　黑澤廣

▽入院隨意△

平町田町　**安齋醫院**　電話四七五番

吸入用酸素　純度99％

度量衡　モノサシ　マス　ハカリ

計量器　體温計　寒暖計

秤ノ取緒。垂糸。修繕致シマス

◎寫眞材料一式販賣致シマス

關內藥局　電話四〇番

高久病院

院長　醫學士　高久忠

副院長　新潟醫學士　赤羽清

藥局長　藥劑師　佐竹菊雄

內科小兒科　外科花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科

◎看護婦さん募集

平町田町　電話五一三番

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します

入會隨時　平町田町六九

喜多流　謠曲　仕舞　**白土會**　電話一二七番

花柳病科　外科

木村外科醫院

平町六丁目橋際　電話三〇九

難波醫院

平町大町新川端　電話五〇二番

鐵道省指定記念

小濱名……湯本間乘合自動車

無料乘車券サービス

乘車券は小名濱馬目自動車店、西野屋自動車店、湯本驛前丸本、矢內自動車店に御座ます。二人樣以上はハイヤーをサービス致します。何卒御利用下さい。

小瀧へ!!

◇宿泊料　1.50　2.00　2.50

（御滯在は左記料金にて中食料をふくませます）

◇日歸浴席料　.20

◇自炊料　.50—.80｛入場料・室料　夜具料一切

◇料理一定食　.80　1.00　1.50

（その他一品料理洋食）

◇湯　効　神經痛.リウマチス.胃腸病　痔疾.婦人病.逆上.中風.肥胖病

（內務省東京衛生試驗所檢定濟）

◇諸設備　撞球臺.高級ラヂオ.大廣間　讀書室.近代式浴場と洗面所.水洗式便所.小動物園.タクシー部　御子樣運動器具

◇名物　川魚料理（うなぎ.鯉）蜂密羊かん

◎女中數名入用◎

常磐線湯本驛　小瀧鑛泉

御旅館　御自炊　**瀧の湯**

電話（小名濱）103番

春物は

是非！

當店から

（在庫豊富）

東屋洋品店
平町田町通電話六五六番

美味！芳醇！

たひら正宗

山崎合名會社　電話一二〇番

石炭　コークス　豆炭

阿部石炭店

平驛前　電話三十七番

國旗と提灯

[illegible]

壁の塗り替へは！　カセイン

大谷建材店

平町紺屋町　電話三六六番

肌が美しく若返へる……

（南洋特產パパイン酵素入）

三共パパコロン

專賣特許

本品の御常用はニキビ、ソバカス、シミを消し　スベスベとしたキメ細かな美肌を作るので評判です。

一本　35セン

三共株式會社特約代理店

（電話3番）**西村屋藥局**（平2）

生徒募集

一、本科一年（二ヶ年卒業）　五十名

一、技藝科一年（二ヶ年卒業）　五十名

一、專攻科（一ヶ年卒業）　二十名

一、各科二年（補缺入學）　若干名

文部大臣認可

平陽女學校

平町　電話四四五番

一、科外生　21　洋裁科　若干名　タイピスト養成科　若千名

一、入學願書提出　三月三十一日迄

一、新學期開始　四月一日ヨリ

一、學則入學案內書御申込により差上げます

耳鼻咽喉科專門

鈴木醫院

醫學士　鈴木正男

平町田町（電話五八番）藤田女學校前

自炊のお需めに應す　入院の便あり

旅館　大幸館

私は平町出生ですから特に鄉里の皆樣方の爲に御便利を圖ります

主人　**比佐棟雄**

東京上野驛前（下谷郵便局橫通角）電話下谷六七七番